



ホーム  
ページ



インスタ  
グラム

## 共生

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しく願います。

**共生**について、

「・好きな人とも嫌いな人とも  
・好きなこととも嫌いなこととも  
・自身の好きな部分とも嫌いな部分とも  
共に生きていきたい（嫌だと思う気持ちも好きと思う気持ちも含めた全てを、自分自身だとして生きていきたい）気持ちが、人間にはあるのではないか」と、師から教えられました。

さて、昨今、思い通りにならない、生き物、環境、他者、自身とどう折り合いをつけ、共に生きていけばいいのでしょうか？

それは、私を大切に思ってくれている（仏）人との出会いではないでしょうか。日常生活では、犠牲やおかげを当たり前と思い、自他共に大切に出来ていない私への気づきが、共生への一歩に。



切手（住職の似顔絵）左は森いろはさん 10才  
右は森ういのさん 6才の作品です。



郵便はがき



真宗大谷派  
四恩山  
光照寺

ご門信徒  
御中



- ・住職挨拶 1頁
  - ・前住職聞思 2頁
  - ・お盆法要報告 3頁
  - ・行事報告
- （夏休み子どもわくわく体験・坊主バー・茶話会・もちつき） 4頁

- ・手ぶらで寺ぶらお寺を散歩 5頁
- ・知ってる門司港？今昔未来？
- ・新運営委員紹介 6頁
- ・スケジュール 7頁
- ・伝言板 編集後記 8頁



# 前住職 聞 思

”  
俺はキムタクにはなれないが、  
キムタクも俺になれない  
“  
へよく言った（笑）その通りへ

琵琶湖の最深部は、100 米以上あると、最近知った。世界一は、マリアナ海溝で、<sup>10290</sup> 米だそうだ。エベレストが逆立ちしても、まだ届かない。天体に眼を移すと、数千億、数千兆以上の星が存在しているという。なのに私は、ほんの一部のみ繋げて「星座」と呼んで、今日まで来た。今更ながら、自分は何も解っていない。視野がせますぎる狭小な男だった。

私中心、人間中心ではなく、へ宇宙にある全ての存在を、ありのままにそのままで、この上なく尊いへ、と教えて下さった仏教に縁あって出会わせて頂いた。

—— 天上天下唯我独尊 ——

天上天下唯我独尊とは

お釈迦様が生まれた直後に七歩歩き、誕生した際に発したとされる言葉で、  
「この世のすべての人は、誰とも代わることができない、唯一の存在である」とおっしゃった



# お盆合同法要報告

～世代を超えて、ご先祖の仏様から、私につながるいのちを感じませんか～

日時：令和 7 年 8 月13 日（水） 10時半

14 日（木） 10時半

15 日（金） 10時半

場所：光照寺

講師：住職自勤

スケジュール お勤め 正信偈 ご法話 お焼香

喚鐘の様子



ご法話の一部を掲載

記 住職 濱寄 重信

私たちが生まれ、生きているということは、ご先祖から命や生き方が、継承されてきたからです。そして子孫へ、継承されて行く可能性があります。その命を私は、生きている時だけ楽しければ（今だけ）、そして子や孫のことは関係ない（私だけ）と考えるとしたら、死は不幸だと捉えそうです。私たちは、不幸になるために生まれてきたのでしょうか。

自分の死は、自分自身では感じられません。私たちは、大切な方との別れを通して死を感じます。

『東本願寺法語行灯』 人は出会いによって育てられ 人生は別れによって深められる

出会った意味を本当に味わうのは、出会うことが出来なくなっただけかもしれない。失ってからでも、出会ったものの存在の大きさや大切さを味わうことが、大事なのでは？肉体を失っても次の人の中で、大切な人の心は、生き続けているのかもしれない。

人は、自分のことを大切に思ってくれる人がいることに気づいた時、真の喜びを感じるのではないのでしょうか。大切に思ってくれるとは、本当のことを教えてくれることでは？本当のこととは、**大事な命をどう生きるのか。**

そのことが、この私にまで語り継がれていると思います。その声を聞くことは、私がどう生きるのかを問いながら大事に生きることであり、次の人に大事な命をどう生きるのかというメッセージを託すことでもあります。その声を聞きませんか。



進行の説明



法話の様子



納骨堂でのお焼香の様子



# 行事の報告

## 夏休み子どもわくわく体験

日 時：令和7年8月23日(土) 9時～12時  
場 所：光照寺  
参加者：子ども大人含めて40人くらい

小学校の父兄さんと住職が計画し、光照寺茶道教室さんや光照寺お手伝いの会さんにもご協力頂き無事実施出来ました。子どもさんたちが楽しそうに**竹パン**を作る様子、真剣に**お抹茶**を点てて飲む様子など、普段のお寺では見られない光景がありました。

**みなさん夏休みの思い出になりましたか？**

疲れましたが、充実感があり、又子どもさんの明るい声と笑顔に、元気を頂きました。



竹パンを焼く様子



詳細はこちら

## お彼岸前掃除 & 光照寺坊主バー

日 時：令和7年9月14日(日) 11時～15時半  
場 所：光照寺  
参加者：20人ほど  
スケジュール： 11時：お掃除 12時半：お勤め(正信偈) 法話  
**オカリナの演奏** 13時半：坊主バー じゃんけんゲーム

2月に続き2回目です。前回からご参加の方、新規参加の方、20代の若い方の参加もありました。美味しい食事やお酒やノンアルコールを共有することが、**皆さんの心の距離を縮めたようで、話が弾んでいました。**

お気持ちやお酒など様々ご寄付頂いた方々、ご参加頂いた方々、ありがとうございました。  
お気持ちやご寄付は、次回以降の坊主バーや子どもの行事で使わせて頂くことにしております。



合掌の様子



詳細はこちら

## こうしょうじカフェ（茶話会）

日 時：令和7年11月29日(土) 14時～15時半  
場 所：光照寺  
参加者：14人ほど

こうしょうじカフェ（茶話会）を行いました。初めての試みでしたが、御門信徒さんも御門信徒さん以外の方も来ていただきました。美味しいスイーツを片手に**コーヒーや紅茶やお抹茶を飲みながらのおしゃべり**は、楽しかったようで、みなさんの**目がキラキラと輝いていました。**気づいたらあっという間に時間がたっていました。今後も継続して行う予定です。お誘いあわせの上ご参加ください。



談笑の様子



詳細はこちら

## もちつき大会

日 時：令和7年12月6日(土) 10時半～12時  
場 所：光照寺  
参加者：50人ほど

数日前から、風が強く、寒い日が続いておりましたが、もちつき当日は、お天気にも恵まれました。こどもたちの元気な声とお手伝いのベテランスタッフの掛け声が空高く響きわたりました。**いろいろな世代の方との交流ができ、皆さんの笑顔が溢れていました。**最後に、参加していただいた方、お手伝い頂いた方、この場をお借りして御礼申し上げます。



元気に餅をつく様子



詳細はこちら



# 手ぶらで寺ぶらお寺を散歩



## 比叡山延暦寺

比叡山ドライブウェイ  
田の谷ゲートから約30分程度  
京都駅から直通バスあり

地元のサッカークラブであるギラヴァンツ北九州を応援しているため、ホームの試合はもとより、アウェイの試合にも遠征するため、最近は試合前後に近隣の寺社仏閣にちよくちよく訪れるようになりました。今年、7月5日に関西方面に試合があつた際にフェリーで往復したこともあり、**比叡山延暦寺**にうかがいました。

延暦寺は、宗派としては天台宗です。天台宗は、中国（隋）の天台智者大師、**智顗**を**実質的な高祖**とする大乗仏教の宗派です。延暦寺は、伝教大師**最澄**が804年（延暦23年）から翌805年にかけて唐に渡つて**天台山**にのぼり、天台教学を本場で学び同師が日本における拠点として開きました。

延暦寺は、広大な範囲に亘っており、東塔（とうど）、西塔（さいとう）、横川（よかわ）中堂を車で移動しつつ、かけあしでまわる感じになりました。残念ながら、東塔の総本堂根本中堂は大規模改修中につき外観は覆われていました。東塔は延暦寺発祥の地で、伝教大師最澄が延暦寺を開いた場所です。西塔は本堂にあたる釈迦堂を中心とする区域です。横川は本堂にあたる横川中堂を中心とする区域でした。浄土真宗の宗祖である親鸞聖人をはじめとして数多の高僧も修行したという比叡山は中学生の時にも修学旅行で訪れたのですが、大人になって改めて訪れると色々と感慨深いものでした。

ペンネーム「とし」

## 知ってる門司港？

## 今昔未来？クイズ



皆さん問題です。

この建物は、門司港のどこでしょう？

答えは次の頁に

- A JR九州本社
- B 明治屋
- C 日本銀行





# 知ってる門司港？

今昔未来？クイズの答えは、C日本銀行



大正初期撮影

現、門司生涯学習センター  
鎮西橋前



令和7年撮影

## 門司港の歴史

門司港は、明治22年（1889年）に石炭などを扱う国の特別輸出港に指定されました。大陸との定期航路や欧州航路の寄港地にもなり、大変なにぎわいだったといわれています。現・棧橋通りから鎮西橋交差点までの約300mは銀行や商社などの洋館が並び、まるでロンドンのようなことから、「一丁ロンドン」と呼ばれていたそうです。北九州市政だより10月号より

NEW FACE



山浦かおり

KOUSHOUJI STAFF

NEW FACE



山浦俊彦

KOUSHOUJI STAFF

NEW FACE



坂上芳郎

KOUSHOUJI STAFF

NEW FACE



大久保雅子

KOUSHOUJI STAFF

NEW FACE



中村真実

KOUSHOUJI STAFF

新加入運営委員紹介

光照寺の活動を、より発展させる為、運営スタッフを増員しました。尚、現スタッフには、引き続き、お力をお借りします。

- ・責任役員 松井氏 岡村氏
- ・総代 高畠氏 今本氏 坊守
- ・運営委員

江村氏 田中氏 鈴川氏  
住職の計14名で頑張っています。皆様のご支援宜しくお願いします。

五	三	二	十	十	七	三	一	法
十	十	十	七	三	回	回	周	事
回	三	五	回	回	忌	忌	忌	年
忌	回	回	忌	忌	・	・	・	回
・	忌	忌	・	・	・	・	・	表
・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	亡
昭	平	平	平	平	令	令	令	く
和	成	成	成	成	和	和	和	な
五	六	十	二	二	二	六	七	っ
十	年	四	十	十	年	年	年	た
二		年	二	六				年
年			年	年				



文字の色  
 ■ 仏事  
 ■ 仏事以外

# 2026年 光照寺 上半期スケジュール表

<p> <b>1月</b></p> <p>1 1日(日)</p> <p>1 3時半～15時半頃</p> <p>『ためして仏教！！』</p>	<p> <b>2月</b></p> <p>1 日(日)</p> <p>1 3時半～15時半頃</p> <p>『ためして仏教！！』</p>	<p> <b>3月</b></p> <p>1 5日(日)</p> <p>1 0時～12時頃</p> <p>お彼岸前の清掃</p> <p>2 8日(土)</p> <p>14時～15時半頃</p> <p>茶話会こうしょうじカフェ</p>
<p> <b>4月</b></p> <p>4 日(土)13時半</p> <p>5 日(日)10時・13時半</p> <p>春季法要</p> <p>親鸞聖人お誕生会</p> <p>御門信徒総永代経</p> <p>溝邊 伸師</p>	<p> <b>5月</b></p> <p>1 0日(日)</p> <p>1 3時半～15時半頃</p> <p>『ためして仏教！！』</p> <p>3 0日(土)</p> <p>14時～15時半頃</p> <p>茶話会こうしょうじカフェ</p>	<p> <b>6月</b></p> <p>7(日)</p> <p>1 3時半～15時半頃</p> <p>『ためして仏教！！』</p> <p></p>

\*ためして仏教！！の内容については、お寺にお尋ねになるか、ホームページにてご確認ください。  
 \*予定が変更になった場合や、新たに仏事・行事が増えた場合、減った場合は、ホームページもしくは書面にてご連絡いたします。



## 伝言板

### ご報告

#### ご寄付

N・M様 A・S様 F様 O様 T・K様 T様 S様  
その他多数の方より、ご寄付がありました。**有難うございました。**

#### お願い

令和7年度分のご門信徒年会費のご入金は、令和8年3月31日まで  
にお願いします。

**住所並びに連絡先を変更された方は、恐れ入りますが光照寺まで  
ご連絡をお願いします。**

### チャレンジしてみませんか？

スマホのカメラアプリを開き、カメラを光照寺のQRコード  
にかざしてみませんか。画面の上部や下部に案内がでます。  
出てきた表示を押してみてください。光照寺ホームページ  
が確認出来ます。ご不安な方は、ご家族や詳しい方と一緒に  
チャレンジしてみてください。

スマホにより表示が異なります。



### 募集中！！ あなたの写真・記事で光る照らす寺へ

光照寺広報委員会には、ホームページへの記事の執筆・SNS掲載写真のご提供  
・光照寺通信の企画・執筆等を、御門信徒さんよりすでにご協力頂いております。  
より広報の充実を図る為、撮影した風景写真のご提供や光照寺行事・仏事の  
報告を書いていただける方を募集しています。お寺までお声かけ下さい。  
待っています。

## 編集後記

以前、ご門信徒さんから、しゃべり場をお寺に作って欲しいと言われていました。  
昨年11月末にようやく、茶話会「こうしょうじカフェ」として、その言葉に応えること  
が出来ました。茶話会では、参加された方が自己紹介の時に、社交ダンスをやっている  
と話されると、お友達と一緒に参加された方も、私も以前やっていたと共通の話題がみ  
つかり、すぐに打ち解け話が盛り上がりました。「一期一会」の場と感じ、とても有意  
義でした。ご門徒さんに限らず、どなたでも参加自由です。お待ちしております。

光照寺通信は、今回からページ数を12頁から8頁にしました。より皆様に読みやす  
いように、報告の概要を掲載し、詳細はホームページにて、ご確認出来るようにしてい  
ます。今回は、未掲載ですが、門信徒さんリポート・仏事Q&A・これって仏教語・又サ  
プライズ企画も用意しています。よろしければご感想等頂けると励みになります。参加  
型広報誌になれるよう頑張ります。

前坊守